

「技術職員の国際化」および「設備・機器の共用化」 に関するシンポジウム開催のご案内

名古屋大学全学技術センター
実務委員会
高田昇治

名古屋大学全学技術センターは、平成16年4月に設置され、最先端の研究と教育を支援する技術レベルの向上・高度化と技術の継承を効果的かつ持続的に実現することを目指してきました。それぞれの部局の個性ある教育と研究の現場で培われた技術は、名古屋大学ばかりではなく社会に開かれた財産でもあり、教育研究支援技術がさらに高度化し発展するとともに、本センターを拠点として、世界に広く繋がっていくことを期待しています。そこで、今回、技術職員に関わる課題に対する各機関の現状や取り組み状況などについて他大学の技術職員と情報交換・意見交換を行い、各機関の参考にすることを目的として下記のシンポジウムを企画致しました。是非とも参加して頂ければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

テーマは次の二つです。

① 設備・機器の共用化

大学の共同利用施設には、最先端の設備や研究装置をはじめ多くの（分析）機器があり、教育研究に利用されています。科学の発展を支える重要な資産であるこれら設備・機器をより効率良く運用して行くことが求められています。そのために、管理システムや学内外への利用者拡大や他大学との連携など、現場レベルでどのような知識・情報が必要であるかを議論することは大きな意義があると考えています。（共用化システムがない場合でも）それぞれの大学の現状についてご紹介していただければと思います。

② 技術職員の国際化

名古屋大学では、グローバル30に関連した英語による授業の推進により、学生の安全教育や研究支援の現場において、その場で英語を話して説明するだけでなく、設備や機器を取り扱う際の説明書の作成など、国際化に関連して技術職員に業務として求められることが今後ますます増加することは必至であります。また、宗教・文化の違い等を業務の中で考慮しなければならない場合があり、国際感覚を養うことも重要であると考えています。そこで、海外の技術職員との技術交流も考慮した「技術職員の国際化」についてシンポジウムを開催します。東海北陸地区の大学を代表する技術職員の方にお集まり頂き、事情は各大学によっていろいろであると思いますが、身の回りの国際化に関する現状や取り組み等について些細なことでも意見を出し合い交流をしたいと考えています。

本シンポジウムは、同じ新規職員の採用地域である東海北陸地区の技術職員の幅広い人脈形成に繋がるものと期待しています。

「技術職員の国際化」および「設備・機器の共用化」 に関するシンポジウム

会場： 名古屋大学工学研究科創造工学センター
(IB 電子情報館 北棟 10 階 創造工学センターセミナー室)
日時： 平成 27 年 1 月 23 日 (金) 10:00～15:00

シンポジウムのスケジュール

10:00～10:05 全学技術センター部長 挨拶
10:05～12:00 技術職員の国際化に関する報告及び討論 (各機関)
12:00～13:00 昼休憩
13:00～14:55 設備・機器の共用化に関する報告及び討論 (各機関)
14:55～15:00 総括と閉会

参加概要

大学の①及び②に関する報告内容を A4 半ページ以上 (メモ書きでも構いません) にまとめて電子メールでお送りください。①に関しましては、添付したアンケート結果と共にお送りいただければ、こちらで当日の資料として準備させていただきます。プロジェクターも準備しますので、必要の方は利用してください。

なお、食堂は昼、大変混雑しますので、弁当を準備します。
必要な方は、申し込みください。代金 ¥600 円 (当日支払い)

**各大学からの参加者 1 名分の旅費は、名古屋大学で負担いたします。
複数名参加される場合の旅費は、事前に間合わせてください。
(参加状況により、名古屋大学で負担できる可能性があります。)**

+++++

参加者の 氏名、所属、メールアドレス、連絡電話番号
弁当の注文 要 or 不要 をお知らせください。

「技術職員の国際化」に関するアンケート

以下の設問に回答して下さいようお願いいたします
(□にチェックをお願いします)

性別 男 女
年齢 10代 20代 30代 40代 50代
技術分野 情報通信 環境安全 装置開発
 計測・制御 分析・物質 生物・生体 その他

技術職員の国際化について

問1. 最近、大学の中で外国人が増えたと感じますか？

はい いいえ

問2. 最近、業務をする上で外国人と接しましたか？

はい いいえ

「はい」の場合:その際、外国語で対応する必要性を感じましたか？

(具体的状況について: _____)

問3. 業務上、外国人に対してマニュアル等を日本語以外で作成するなど外国人を対象として工夫していることがありますか？

ある ない

(ある場合:具体的な状況 _____)

問4. 海外の大学で働く(同じ分野の)技術職員と技術交流を持ちたいと思いませんか？

思う 思わない

(理由を記入してください: _____)